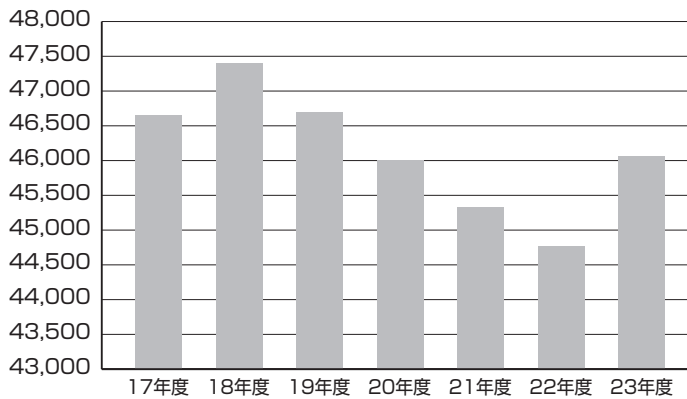


出雲市可燃ごみ搬入量



数値は、合併前の斐川町分も含めた出雲エネルギーセンターへの搬入量（単位はトン）
(トン)

区分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
出雲市	46,647	47,394	46,689	46,004	45,334	44,770	46,062
前年度増減	-1,013	747	-705	-685	-670	-564	1,292

平成18年度以降、可燃ごみの減量が進んでいた出雲市では、平成23年度再び増加に転じ、残念ながら今年度においても、その傾向は続いています。資源ごみの分別とともに、いっそうのごみ減量にご協力をお願いします。

ごみ減量にご協力を
可燃ごみの量が増加しています

1人あたり年間の可燃ごみの量

H22	H23	増加量
257kg	263kg	6kg

1人1日あたり約16g増えています。

家庭でできる可燃ごみ減量策

① 無駄なものは買わない

買い物に行く前に冷蔵庫にあるものや消費期限をチェックし、本当に必要なものを買いましょう。安いからといって買いすぎないことが大切です。

② 生ごみのひとしぼりの習慣を

夏場にかけて、すいかの皮など水分を多く含んだ生ごみが発生します。生ごみの70%が水分と言われています。ごみを出す前に「ぎゅっとひとしぼり」が減量効果抜群です。

生ごみの水分を取り除くことで悪臭・腐敗防止の効果があるとともに可燃ごみの減量につながり、ごみ袋の使用量を減らすこともできます。



③ 雑紙もリサイクルできます。

ティッシュの箱、菓子箱、食品の外箱、パンフレット、リーフレット、カレンダー、包装紙、事務用紙、メモ用紙、封筒（窓付きの封筒はビニールを取り外す）、ラップの紙芯など、可燃ごみで捨ててしまいがちですが、これも立派な資源です。ひもでしばって、決められた日にリサイクルステーションなどに出しましょう。ただし、次の紙類はリサイクルできません。
※銀はくパック、感熱紙、カーボン紙、ビニールコート紙など

そのほかに市では、割りばし回収や廃食油回収も行っています。ご協力ください。

皆様のご協力で住みよいまちを作っていきます。

ごみ減量化に関するおたずねは
環境政策課 (☎2169988)



小さな雑紙は紙袋に入れて、ひもでしばって出してください。

◆ 出雲エネルギーセンターの周辺環境の調査結果 ◆

出雲エネルギーセンターでは、施設の供用開始時から、施設が周辺環境に及ぼす影響を大気質・騒音・振動・交通量・水質などについて毎年度調査しています。

ダイオキシン類の調査結果は、右表のとおりで、排出基準を十分に満たしています。その他の調査項目についても、関係法令等の基準を大きく下回っています。

エネルギーセンターの排ガスダイオキシン類 調査結果

(単位：ナノグラム (10億分の1グラム))

調査時期	H23.1月	H23.8月	H24.2月
A系	0	0.0010	0.00017
B系	0.000000090	0.0000014	0.00000072
排出基準	0.1		

※A系、B系とはエネルギーセンターのごみ処理系統

8月1日から斐川地域5店舗でも、 レジ袋無料配布を中止します！

～レジ袋削減の取組状況をお知らせします～



市では、環境にやさしい都市づくりの実現をめざして、資源の節約とごみの削減、二酸化炭素の排出削減を目的に、買い物の際にマイバッグを持参し、レジ袋をもらわない運動を展開しています。

今年8月1日から斐川地域のグッディー斐川店、JA斐川町グリーンセンター、荘原ショッピングセンター・アイ、スーパーマーケットサンアイ斐川店、ゆめタウン斐川の5店舗の食品レジでレジ袋の有料化が始まります。マイバッグを持参しレジ袋を使用しないことは、資源の大切さやごみ問題・地球温暖化問題を考えるきっかけになります。身近なことから環境にやさしい取組を始めてみましょう。

環境にやさしいまちへ

～レジ袋削減の取組状況(平成23年度下半期)をお知らせします～

この取組状況一覧は、「出雲市レジ袋削減の推進に関する条例」第8条に基づく特別事業者の公表です。

特 別 事 業 者 名	レジ袋の 無料配布中止	マイバッグ 平均持参率
イオンリテール(株) (イオン出雲店)	○	83.1%
(株)イズミ (ゆめタウン出雲、イズミ神西店)	○	83.5%
(株)ウシオ (グッディー4店舗)	○	83.6%
(株)小田商店 (生鮮食品おだ出雲店)	○	88.0%
JAいずも (ラピタ本店、各支店)	○	89.1%
(協)大社ショッピングセンター (エル)	○	83.0%
(株)フーズマーケットホック (ホック2店舗)	○	85.4%
(株)マルマン (マルマン大社店)	○	80.4%
(株)丸合 (丸合平田店)	×	48.8%
(株)トライアルカンパニー (トライアル出雲店)	×	調査なし



写真は、出雲市環境保全連合会鳶巣地区の環境美化活動の様子(6月10日)。出雲市環境保全連合会は、レジ袋有料化に取り組む8事業者からの寄付金を活用しています。

表中の太字の6事業者の皆様には、レジ袋の収益金の一部を出雲市環境保全連合会にご寄附いただいています。

※特別事業者とは、出雲市内に1,000㎡以上の店舗面積を有し、かつ、食品衛生法第52条第1項の許可を受けた小売業者をいいます。

上記の表以外で、協定に基づきレジ袋無料配布中止に取り組んでいる事業者のマイバッグ平均持参率は、次のとおりでした。

- 社会福祉法人親和会 ふたば (市役所売店) : 95.0%
- (有)藤増ストア (藤増ストア各店) : 88.2%

以上の2事業者も出雲市環境保全連合会にご寄附いただいています。